

生産空間における定住促進に向けた検討調査

第9期北海道総合開発計画では、食、観光、脱炭素化等の北海道の価値を生み出している「生産空間」を維持・発展させるには、多様な暮らし方・働き方の実現のため多様なニーズに応え個人と社会全体のWell-Beingを向上させることが重要とされています。そうした中、複数の自治体から定住に必要な条件をより深く理解したいとの声が寄せられました。

このため、道内自治体等が定住促進施策を検討する際の参考となることを目的に、ワークショップ形式によって Well-Beingの観点を踏まえた定住要件に関するより掘り下げた意見の把握を試みました。

ワークショップの実施

テーマ:「あなたにとっての『定住要件＝幸福を感じる(希望する)生活を
実現するための要件』は何ですか」

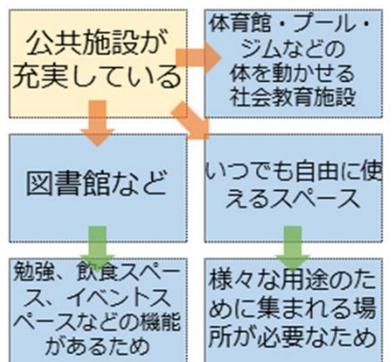


「若者世代」
國學院大學北海道短期大学部学生



「子育て世代」
JAとまこまい広域職員、厚真町役場職員等

▼実施結果の一例



ワークショップ参加者が「定住要件」について「具体的内容」や「理由」に掘り下げて把握

: 第1ステージ
 : 第2ステージ
 : 具体的内容
 : 理由

ワークショップ実施結果の整理

① 都市部と地方部(生産空間)の比較

定住要件について都市部と地方部の優位性を整理して「地方部における課題(都市部に優位性)」と「地方部がPRできるもの(地方部に優位性)」とに明確化

▼整理結果の一例

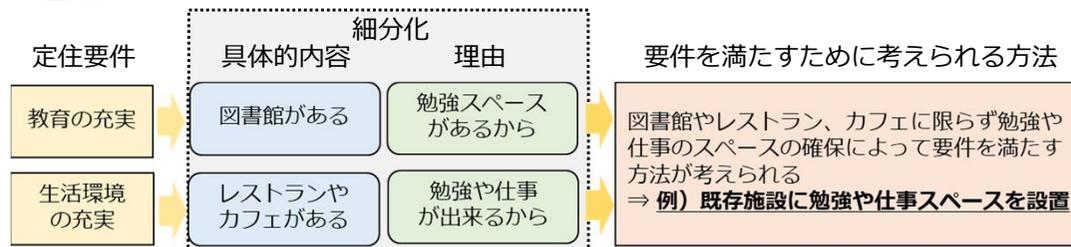
以下は、推測して仮定したものであるため全ての地域で当てはまるものではありません。

カテゴリー	定住要件	優位性	
		都市部	地方部
教育・子育て	子供との時間を確保できる		●
仕事	職種が多い(選択肢が多い)	●	

② 定住要件の細分化

定住要件を「具体的内容」と「理由」に細分化して「要件を満たすために考えられる方法」を整理

▼整理結果の一例



③ ワークショップの運営方法について

⇒ 参加者主導型のワークショップによる手法に、理由や意図を質問するヒアリング要素を加えることで、より掘り下げた把握が可能